

平成29年度茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会7月定例会議事録

- 1 日 時 平成29年7月12日(水)午後1時30分～午後2時40分
- 2 場 所 市役所本庁舎4階 会議室1
- 3 出席者 細田会長、後藤副会長、植松副会長、小室会計、和田監事、矢野監事
関野保、河内昇、篠原徳守、林正明、真野宗直、三觜健一、林申次、
高梨勇、熊澤繁雄、弓達茂、小島清計、新倉昭人、中田一夫、前田積、
青木三郎、古谷宏、鈴木健司、永澤鐵男の各委員
欠席：滝本誠、小山博美の各委員
秘書広報課(中山課長他)、施設再編整備課(吉野主幹他)、都市政策課(関
野課長他)、地域保健課(大川課長他)
市民自治推進課(富田課長、永倉課長補佐、小松担当主査、竹井主査)
事務局(安藤、長野)
- 4 会議の経過
 - (1) 開 会 後藤副会長
 - (2) あいさつ 細田会長
 - (3) 議 題
 - ① 新旧委員懇親会の状況について(報告)
事務局より、資料に基づき報告した。
 - ② 会報誌「まちぢから」の発行について
事務局より、資料に基づき説明した。
 - ③ 先進都市視察について
事務局より、資料に基づき説明した。
委員より、視察テーマとして「高齢者問題について」の提案があった。
日程については、10月23日(月)～26日(木)の間の連続2日間とすること
に決定した。
 - ④ 研修会について
事務局より、資料に基づき説明した。
日程、場所について、11月25日(土)午後2時から、市役所本庁舎4階会議
室1～3で開催することを確認した。
 - ⑤ その他
 - ア 情報交換について
 - (ア) 茅ヶ崎市内の犯罪発生状況等について
後藤副会長より、茅ヶ崎市内の6月末現在の犯罪発生状況及び振り込め詐欺一覧表
の資料に基づき説明があった。
振り込み詐欺については、最近また増え始めている。町名ごとに発生場所を記載した

振り込め詐欺一覧表を資料として配布させていただいたが、特に5月は湘北地区の鶴が台団地、松風台、香川で3件発生しているのが特徴だと思う。行政も危機管理を持って取り組んでいただき、特殊詐欺防止チラシの高齢者世帯への配布や市役所の庁内放送で振り込め詐欺への注意喚起を図る放送をしていただいている。これらも一つの効果になっているものと思っている。オートバイ盗と自転車盗が相変わらず多く、昨年よりも増加している。特に、自転車盗、オートバイ盗は、夏に未成年者によるものが多く、地域の中で見守りをよろしく願いしたい。

また、茅ヶ崎市内で認知症に関係する事件が発生した。高齢者の認知症という問題が出てきているので、地域の中でもケア会議を開くなど対策を取っていると思うが認知症の関係も気をつけていただきたい。

犯罪発生状況の資料の中に、交通事故等の状況を載せている。交通事故も2輪車と自転車が神奈川県平均と比べると、非常に高い状況になっている。気をつけていただきたい。

(イ) 第2回 潮風散歩ツーリングのご案内について

和田監事より、資料に基づき説明があった。

市内のメイン道路を自転車で走りながら道路状況をチェックするという目的で企画した。主催は、茅ヶ崎サイクルライフ研究会というサークルで、私も顧問をやっている。げんき基金の補助事業である。テーマとしては、「走って、見て、感じて、茅ヶ崎の“まち”を考える」である。7月21日(金)に高砂コミュニティセンターに集合していただき、約2時間市内を走る。茅ヶ崎の道路の名前は、法定外路面表示と自転車専用ラインがあり、国道1号では自転車専用ラインが一里塚から鳥井戸橋の間にあるが、そうしたところを一緒に走りながらチェックしていく。

終わってからは、どういうところにどのような問題があるのか参加者でディスカッションをすることにしており、自転車の好きな方、茅ヶ崎の道路を走ってみたい方はぜひご参加をお願いしたい。よろしく願います。

(ウ) 「浜須賀まちなちから」第9号の発行について

青木委員より、「浜須賀まちなちから」第9号の発行にあたり内容等について説明があった。

「浜須賀まちなちから」は、浜須賀地区まちなちから協議会編集会で発行しているもので、今回はカラー版とし全戸配布したものである。内容については、小学校と中学校3校とも校長が代わったのでそれぞれの校長から挨拶をいただいた。浜須賀地区の自治会連合会、社会福祉協議会、体育振興会、青少年育成推進協議会等もまちなちから協議会の部会となっており、それぞれに依頼しこのような形で掲載したものである。4ページには、地域包括支援センター「あさひ」があるが、高齢者の方も多くなり要介護・

要支援の認定について、施設入所の仕組みについて、なるべくわかりやすい言葉で書いていただいたものである。

中身についてはお目通しをいただき、浜須賀地区はこのような形でやっているということがおわかりになれば幸いである。

なお、今月15日に市民集会を実施する。浜須賀会館に目安箱を設置しており、一定期間に投函があったものを中心に、市民集会で取り上げ意見交換をしている。以前、他地区の方たちが来場されたこともあり、その方たちの発言もお聞きするが、その場では全てには回答しないという形で実施しようと思っている。以上である。

主な質疑は次のとおり。

(問)「浜須賀まちのちから」の印刷代はいくらぐらいかかっているのか。

(答)市民自治推進課からお答えする。6,000部の印刷でおおむね10万円前後だったと思う。

(会長)広報紙を新たに発行する地区は参考になると思うので、その際はお問合せさせていただきたい。

(エ)茅ヶ崎市体育振興会連絡協議会について(情報提供)

市民自治推進課長より、情報提供があった。

7月7日(金)に茅ヶ崎市体育振興会連絡協議会が開催され、市民自治推進課にも出席依頼があり参加した。この連絡協議会は、各地区の体育振興会の会長が集まる会で、最初に市民自治推進課から、まちぢから協議会についてお話をさせていただき、その後、各地区がどのようにまちぢから協議会にかかわっているのか、それぞれの会長からお話をいただいた。意見として、最初は連合会というイメージが強くて連合会に吸収されてしまうのではないかという思いの中で携わっていたが、やっていく中で、自治会ともまちぢから協議会ともうまくやっているという声をたくさんいただいた。

一方で、まちぢから協議会の区域と体育振興会の区域が必ずしも一致していないところがあり、そういったところではやりづらさや今後様々な取り組みを進めていく中でどのようになるのか不安を持ってられる体育振興会の会長もいられた。このような取り組みがあったことを報告させていただく。

これからも市民自治推進課では、一緒に議論に加わりながら不安な部分や改善点について助言等させていただきたいと思っている。以上である。

(4)行政からの依頼事項

○ 依頼・説明事項(新規事項)

①「市制施行70周年記念 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」開催の周知について(依頼)

秘書広報課長より、資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(問) 雨天の時の対応についてはどのようなになっているのか。

(答) チラシには、雨天会場として総合体育館で開催することを記載させていただいているが、依頼文の方に記載漏れがあった。加筆させていただく。

(問) 体操の講師の方はどなたになるのか。

(答) 当日来られる体操の講師は、鈴木大輔氏、ピアノ演奏は、加藤由美子氏となる。

(問) 駐車場の配慮はどのようなになっているのか。

(答) 中央公園での催し物であることから、特に減免等については考えていない。

(問) 駐車場の場所は確保されているのか。

(答) 駐車場の場所については、ラジオ体操が午前6時からということで、中央公園南側の市営第1駐車場をご利用いただくことになる。

(問) 駐車場利用者は、減免対象にならないのか。

(答) 減免の対象外となっている。

(問) 減免の対象としていただきたい。

(答) 対象外となっており、ご理解、ご協力をお願いしたいと思う。

(問) 市制施行70周年記念行事の一環として開催するわけであり、背景から言ったら減免の対象と考えたほうが良いのではないか。

(答) 貴重なご意見をいただいたと思う。現在、中央公園で開催するイベントについては、減免の対象外という形で方向性を打ち出させていただいており、今いただいたご意見を今後の各々の事業等に反映させていかなくてはならないと今日は承りたいと思う。

(問) 小出地区では、7月21日から8月29日まで里山公園でラジオ体操を行う。公園の駐車場は通常は有料となっているが、駐車場の「タイムズ」と話し合った結果、ラジオ体操が終わり午前8時までは減免にすることに決定した。中央公園でのラジオ体操は、市制施行70周年記念として市が行う事業であり、市長の決断をよろしくお願いしたい。

(答) 持ち帰らせていただき、検討という形をとらせていただければと思う。

② 茅ヶ崎市資源物選別処理施設跡地の土地利用について
施設再編整備課主幹より、資料に基づき説明があった。
主な質疑は次のとおり。

(問) 茅ヶ崎警察署の移転用地の敷地面積はどのくらいか。

(答) 敷地面積は、約3,800平方メートルを予定している。

(問) 予定されている駐車場台数はどのくらいか。

(答) 台数については聞いていない。

(問) 最近の警察署は、新しくする際に緊急の場合に備えて独身寮を併設するのが最近の傾向と聞いているが、茅ヶ崎警察署の移転に伴い独身寮の併設の話は聞かれているか。

(答) 移転する敷地の中に独身寮という話は伺っていない。

(要望) 海岸地区内には警察の独身寮があり、市の公共施設を建てるのには十分な敷地面積がある。県有地でありすぐに市の施設が建てられるかは別かもしれないが、警察署の移転に伴い独身寮を併設していただき、海岸地区内のこの用地にコミュニティセンターの建て替えや公民館等をつくっていただければと思っている。市民集会でもお願いしているが、善処方よろしくお願ひしたい。

(問) 今日の異常気象の状況の中で、大雨が降ると県道45号が水浸しになり、通行ができない状況が何度も出ている。警察署や地域医療センターなどは災害が発生した際、車が動けない状況だと何もならないと思うが、対策を考えているのか。

(答) 土地の売却についてはすでに済んでおり、7月で神奈川県に名義が変わっている。この土地に警察署を移転することについて県警の方でも調査をしている。また、資料の消防訓練施設移転用地の北側には、県道45号の溢水対策として雨水のポンプ施設を既に設置している。

(問) 千ノ川がいっぱいになってしまったら、また道路に水が戻ってきてしまわないのか。

(答) この施設は県道の水を千ノ川に流すような機能となっているものである。

(問) ポンプ施設ができたので問題ないという説明がない。そこのところをはっきりと答えてほしい。

(答) ポンプ施設は、道路の溢水対策として設置したものである。現状、千ノ川がいっぱいになった時にポンプが機能するかどうかというご心配いただいた点はあるが、並行して千ノ川の拡幅工事を行っており、道路の溢水対策はできると考えている。

(問) ポンプは稼働しているのか。

(答) 現在、すでにポンプは稼働している。

③ 平成29年度感震ブレーカー設置費補助金制度の申請状況について
都市政策課長より、資料に基づき説明があった。
主な質疑は次のとおり。

(問) 次年度からの感震ブレーカーの設置予定数の集計について、30年度で今年度の倍の希望があった場合、予算は確保できるのか。厳しい財政状況により予算はこれだけのため、非常に危険な地域を優先してやっていく、こうした話し合いができる状況を作っていかなくてはいけないのではないか。

(答) 設置数については、まさしく待ってられない状況ということをお持ちだと思つるので、安全対策上必要なものであり、市としても早急にこの事業を進めていく意思は持っている。30年度に今年度の倍の数値の希望があったらという話をいただいたが、そういう数値を目指して財政当局と企画経営課を通して交渉していくことを考えている。

(意見) 海岸地区として申請数を800個と多くまとめたのは、当初は、今年1,400個、

来年1,500個、再来年2,000個ということで海岸地区9,000世帯の70%を3～5年で網羅していこうという平面的な計画で、市の方と交渉した。3～5年でやってくれば全地域がクラスターの通電火災を防げる大きな力になるので、防災対策課、都市政策課の方に伝え、海岸地区の計画として1,200個申請したが、他の地域もあるので800個くらいに調整してほしいということになった。減になった分は補正予算で確保してほしいとお願いしているが、足りない分については、防災資機材補助金から半分でも補助してもらいながら海岸地区としては危険なクラスター地域から抜け出そうと必死な努力を防災部会の方を中心にやっている。市に対しても出来るだけこの実績を予算に反映していただきたいと強く期待している。よろしく願います。

(5) 閉 会 植松副会長